

# ひとり1改革運動

「ICTを利用して県民サービスを向上させよう」改革賞

静岡未来でケアごはんアイデアコンクール作品の募集

【健康福祉部 介護保険課介護人材班】



生活に身近な食を通じて介護に興味をもってもらうことを目的に開催している「ケアごはんアイデアコンクール」について、これまで、HPや県民だより等の広報のほか、学校へチラシを配布することで若年層への情報発信を行っていましたが、効果的なPRができていませんでした。

そこで、例年応募が少ない大学生以下の若年層へ効果的にPRするため、県内大学生で管理運営するフェイスブック「静岡未来」にコンクールの記事を掲載し若年層への情報発信を行うとともに、電子申請サービスの簡易申請機能を活用し、応募者が容易に応募ができるよう見直しを図りました。

その結果、中・高校生の応募件数が前年比約1.7倍に増加するとともに、電子申請サービスを活用することで、応募者の利便性向上が図られました。

## 工夫した点は？

- ・今年、チラシの印刷量を減らしたうえ、これまで情報が行き届かなかった若い人たちにも効果的に情報を発信することができました。
- ・電子申請サービスを活用することで、応募に必要な写真の印刷や書類郵送の手間を省け、パソコン、スマートフォンから簡単に応募することが可能となりました。

## 今後に向けての更なる取組は？

介護人材確保のため、いかに若い人たちに介護について感心を持ってもらえるか、どうしたら情報を効果的に届けられるかを常に意識し、実際に介護の現場で働く若い人たちの声を聞きながら、彼らがより輝いて働けるような環境づくりに取り組んでいきます。



【フェイスブック「静岡未来」掲載記事】

## 【静岡大学 日誌教授 から一言】

近年ICTの発達とそれを活用したSNSの普及は目を見張るものがあります。それを広報手段の一つとして位置付け、積極的に活用した点は大変評価できます。特に高校生や大学生はSNSへのアクセスが容易ですので、この点は今後も考慮する必要があるでしょう。また、応募に際しICTを使った簡易な方法を考案したことも、応募件数の増加に結び付いたと考えられます。

# ひとり1改革運動

## 「ICTを利用して県民サービスを向上させよう」改革賞

### 電子申請サービスの利用促進

【東部健康福祉センター 廃棄物課廃棄物班】



事業者（数百社）から、年間約8,000件の各種報告書の提出を受けていますが、この報告書は、電子申請サービスを利用して提出することが可能でしたが利用者が少なく、電子申請サービスの利用が十分に周知されていませんでした。

そこで、電子申請サービスを利用したことがない事業者などに、案内ハガキの発送と併せて、電子申請サービスのメリットを紹介するなど電子申請サービスの利用促進を図りました。

その結果、電子申請サービスを利用して各種報告書を提出した事業者が前年比約1.3倍に増加、事業者の報告書作成に係る作業負担を軽減するとともに、窓口対応や郵送による報告書の管理審査業務時間の削減が図られました。

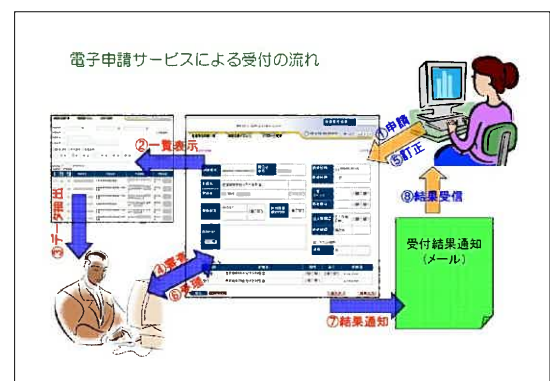
#### 工夫した点は？

- ・過去に電子申請サービスを利用した事業者に対しては、引き続き電子申請サービスを利用するよう、案内ハガキに替えてEメールにより申請様式、記載例、入力フォーム等のリンクを貼り、事業者への作業負担の軽減を図りました。
- ・電子申請サービスの到達、補正指示、受付などの作業手順をまとめた簡易マニュアルを班員全員で共有しました。

#### 今後に向けての更なる取組は？

今年度は、モデルケースとして特定の報告書のみを対象に行いましたが、今後は他の報告書にも適用範囲を広げるなど、更なる電子申請サービスの利用促進を図っていきます。

また、電子申請サービスの普及が進めば、報告データ等の電子化が容易となり、電子化されたデータを活用した新たな施策の展開にも貢献できると思います。



【電子申請サービス受付フロー図】

#### 【静岡産業大学 松本教授 から一言】

モデルケースの活用や定量的な業務量分析など、実践力と能力の高さを感じさせる好例と言えるでしょう。

また、将来の施策展開についての見解は、多くの県庁業務にも関連するものなので、他課の方々にも是非一読してもらいたいと思います。



# ひとり1改革運動

「『やめる・へらす・かえる』で効率化」改革賞

## 浄水場の発生汚泥の有価販売

【東部事務所 工務課工務班、岳南出張所】



【工務課工務班】



【工務課静清サテライト駐在】



【岳南出張所】

これまで、浄水場の発生汚泥を処理するため、1トン当たり約2万円程度の汚泥処理費用を要していました。

そこで、処理費用のコスト削減を図るため、発生汚泥を原材料とした有価販売の可能性を民間企業と協議し、流動化処理土材料、園芸用土として売却することとしました。

その結果、富士川浄水場及び厚原浄水場の発生汚泥約8,000トンの有価販売し、汚泥処理費用約1億2千万円を削減(約4割)するとともに、年間約10万円の歳入確保につながりました。

また、発生汚泥の処理に要していた設計書作成に係る作業時間の削減を図ることができました。

### 工夫した点は？

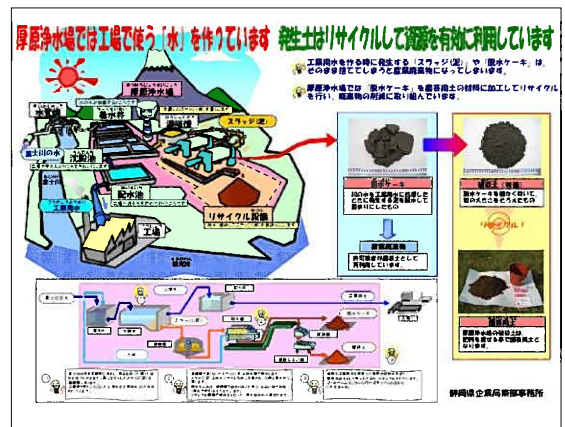
- ・近年、土木工事等の埋め戻し材料として「流動化処理土」の需要が高まっていることに着目し、企業と有価販売の可能性を協議しました。
- ・発生汚泥を破碎して粒を揃え加工することで、新たな価値を生み出し、有価で販売することが可能となりました。

### 今後に向けての更なる取組は？

一層のコスト縮減に向けて、発生汚泥の新たな利用方法も含め、新規販売先の開拓に努めていきます。  
発生汚泥を乾燥させ製品価値を高めるなど、取引量の増加に向けて取り組んでいきます。

### 【静岡県立大学 西野教授 から一言】

浄水場で発生する汚泥を販売物に転換したことで、汚泥処理コストの大幅削減と収入増をもたらし、作業時間の短縮も伴っており、3重の成果を生んでいます。廃棄物を資源化することは、劇的な経営改善であります。市場のニーズなどの動向把握に努めて、さらなる活用策の開拓、改善を期待します。



【発生汚泥を原材料に加工するまで】

# ひとり1改革運動

## 『「やめる・へらす・かえる」で効率化」改革賞

### 県庁内の電子複写機の一括調達

【出納局 用度課印刷班】



これまで、電子複写機の賃貸借契約による調達は、機器区分（カラー機、モノクロ機、印刷速度の違いなど）ごとに、初度調達年度からの長期継続契約を行っており、契約が細分化（契約本数16本）されていました。

そこで、一括契約可能な全89台の契約終了時期をあわせたうえで、26年度から5年間の賃貸借契約を一般競争入札により機器調達することとしました。

その結果、年額17,000千円（5年間の長期継続契約中の累計額85,000千円）の経費を削減するとともに、一括契約による入札執行事務等の作業時間の削減を図ることができました。

#### 工夫した点は？

- ・平成24年度末に更新時期を迎える47台の契約を1年延長し、一括契約可能なすべての機器の契約終了時期をあわせた上で、一般競争入札により機器調達することとしました。
- ・入札に当たっては、従来の印刷実績を基にした最適な機器機能の見直しを行いました。
- ・各部局で機器調達していた機器との一体化も図りました。

#### 今後に向けての更なる取組は？

電子複写機の賃借料や使用料を安価にしても、印刷量が増大すれば、コストの削減にはつながりません。

そのため、職員の皆様に、まず各所属でのコピー用紙の使用量を削減するよう働きかけていきます。



【一括契約した電子複写機の一部】

#### 【静岡文化芸術大学 田中教授 から一言】

物品調達の共同化・一括化はコスト削減の定番です。ただし複写機のように複雑・精密な機器の場合は、仕様が様々で賃貸借契約の期間も異なるため、一括調達に切り替えることは容易ではありません。それを敢えて成し遂げた担当者の努力に敬意を表します。